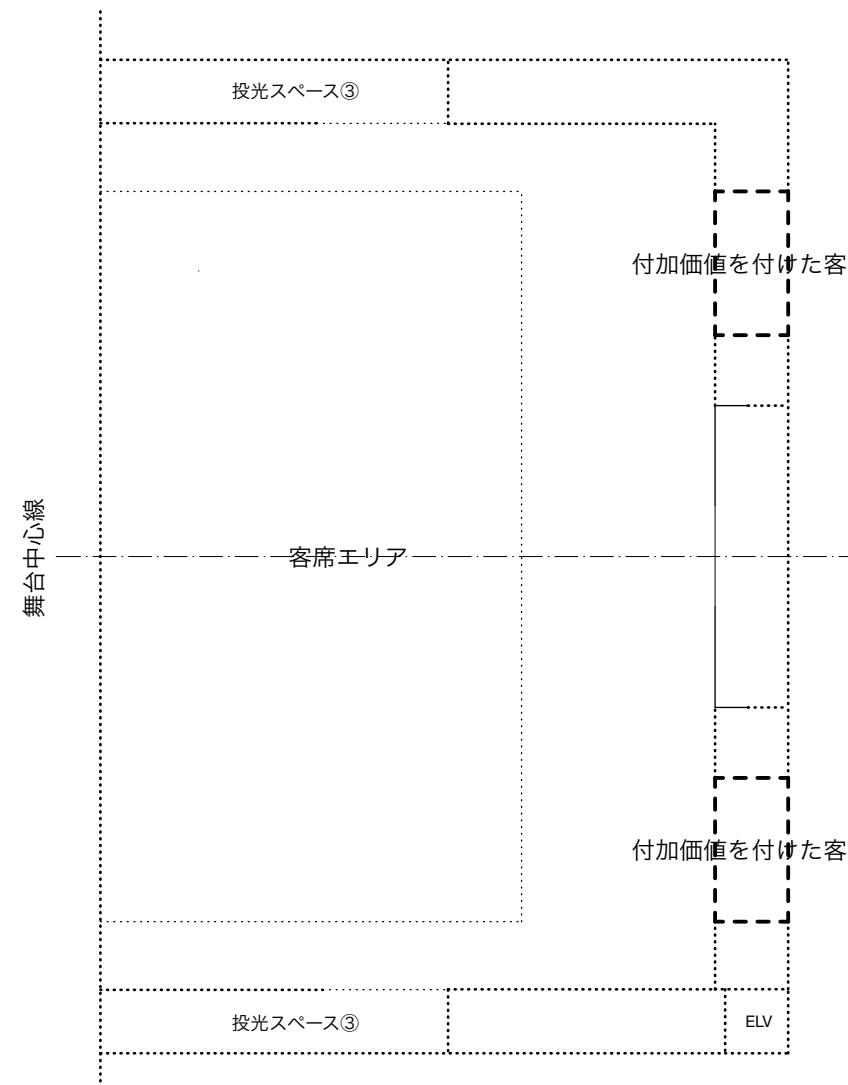


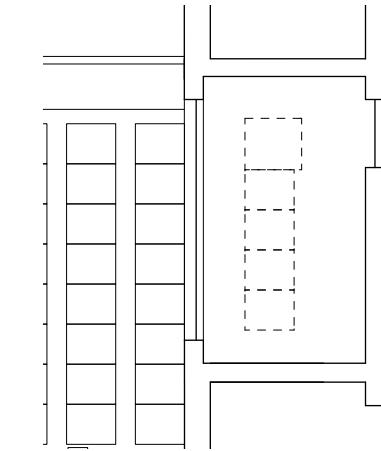
付加価値を付けた客席の考え方

- ・大劇場の上層客席後方の上手と下手に客席5席程度が設けられる区画席を設ける。
- ・区画席の舞台側はガラス張りとし、舞台へのサイトラインを確保する。ガラスは無色透明の高透過かつ低反射とし、室内の照明が公演の進行に支障をきたさないようにする。
- ・区画席は防音遮音性を確保し、ITV及び運営音声モニター設備、固定電話を設置する。
- ・区画席は主としてVIP対応を想定しているが、合理的配慮が必要な来場者など多様なニーズへの対応を想定している。
- ・大劇場ホワイエに特別ラウンジを1室設ける。特別ラウンジは10人程度まで収容できる空間とし、区画席との動線に配慮した眺望のよい場所に配置する。
- ・特別ラウンジの仕様はP-7特別室を参考とし、面積・配置は提案とする。

参考配置図



参考平面図



乳幼児やその家族、障害者、車椅子利用者、高齢者、外国人など多様な利用者を想定した仕様とする。

参考断面図

